

令和4年度 柏市立土小学校 6年生 総合的な学習の時間 プランシート 作成者: 佐々木 須藤

単元設定の理由・背景

・地域の実態や良さに気づいていない。・地域や人のために貢献したいという意識を持たせたい。・長い歴史を持ち、自然が豊かであるという地域の特性を生かした総合的な学習に取り組ませたい。・地域人材の協力を得た学びの場を広げたい。

単元名	単元目標・つきたい力
スマイルアップ大作戦(歴史)	・地域の良さに気づく・自分たちで考えてより良い地域にするために努力する・地域の一員として貢献しようとする姿(知る→考える→行動する→まとめる・伝える)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①地域の魅力の一つである歴史について知る。地域の人々はその歴史を大切にしながら様々な活動を行っており、児童もその地域の一員として連携、協力していくことが大切であることを理解する。【概念形成：連携性】 ②インタビュー、見学、作業を目的に応じて行い、必要な情報を的確に記録する。【技能】 ③地域の一員として地域に貢献しようとする自らの高まりは、地域の歴史をいかに地域に伝えるかを主に据えた学習を探究的に行ってきた成果であることに気付く。【探究的な学習のよさの理解】	【課題設定】①歴史深い地域の特性に目を向け、地域との懇談を通し課題を明らかにし、解決方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てる。 【情報収集】②課題解決に必要な情報を得るために、多様な方法から目的に応じて手段を選択して効率的・効果的に情報を収集し、種類に応じて蓄積する。 【整理・分析】③収集した異なる情報を比較、関連させながら視点に応じて整理し、課題に対して多目的に考察して、確かな理由や根拠を持つ。 【まとめ・表現】④自分の意見や立場を明確にして、相手や目的に応じて効果的な表現方法でまとめ、論理的に伝えたり、発信したりする。	①課題解決を通して、自分の良さや他者の良さを理解し、異なる意見や他者の考えを認め、尊重することで、自分の変容をわかってもらう。 【自己理解・他者理解】 ②課題解決に向けて、自らが考える最善の方法を検討して、互いの考えを認め協力して取り組もうとする。【主体性・協働性】 ③実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして捉え、進んで取り組もうとする。 自己の生き方を考え、将来に向けて夢や希望を持つ。【将来展望・社会参画】

時	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
2	土地の歴史を学ぶ(知る)	・柏市観光協会中島様を講師に、土地の古代からの歴史について学ぶ。→社会科
3	・土小サミットI →土地の良さを地域の方と共有する ・地域の方が土っ子に期待する姿を理解する(知る)	・地域人材から11名の方をお招きする。グループ毎に地域の方をお一人ずつ招いて懇談 農業…中島様 神社…岩立様 城跡…佐藤様 坂・屋号…金丸様 防犯…関口様 防災…青柳様 交通安全…吉田様 高齢者…伊藤様 昔話…押味様 里山保全…保田様 ごみ問題…大江様 →国語科 社会科
3	・地域に貢献できるような学習のテーマを設定し、そのためにどのような活動ができるか考える。(考える)	・土小サミットをもとに、学校で取り上げるべく内容を選定、各学年に割り振る。 ・6年では「地域の歴史」を中心に取り組むことに決定。その中身として萬福寺・廣幡八幡宮・昔話・坂道・里山整備・日光佐倉と決定。学習テーマの設定及び活動の具体化。
	・グループごとに活動する① →萬福寺、廣幡八幡宮、土地の昔話、坂道、里山整備、日光・佐倉(行動する)活動しながらまとめ方を考える。 →中間報告会を授業参観の中で行い、成果や課題を明確にする(行動する・考える)	・学習のテーマに合わせて実際に見学し、話を伺う。活動を通して、ゴールを目指す。 ・活動の協力者(依頼者) 廣幡八幡宮…廣幡八幡宮様 昔話…押見様 柏市観光協会中島様 坂道…金丸様 里山整備…保田様 萬福寺…萬福寺様 日光佐倉→国語科 社会科 柏市観光協会中島様・和田様・佐倉高校様・中間発表会を行うことで軌道修正を行う
	・グループごとに活動する② →反省で出た課題を受けて活動し、まとめた上で発信する ・土小サミット2を行い、地域の方を交えて報告し、次年度への内容引継ぎを明確にする(行動する)	・今年度関わってくださった方々をお招きして、活動の報告会を行う。その中で今年度の成果や来年度に引き継ぎたい点を明らかにする。